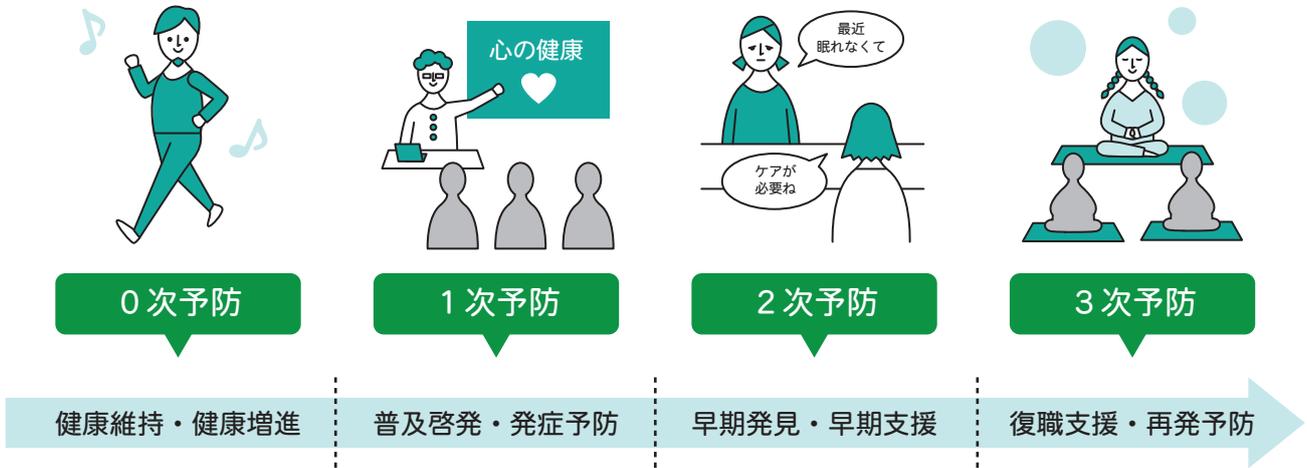




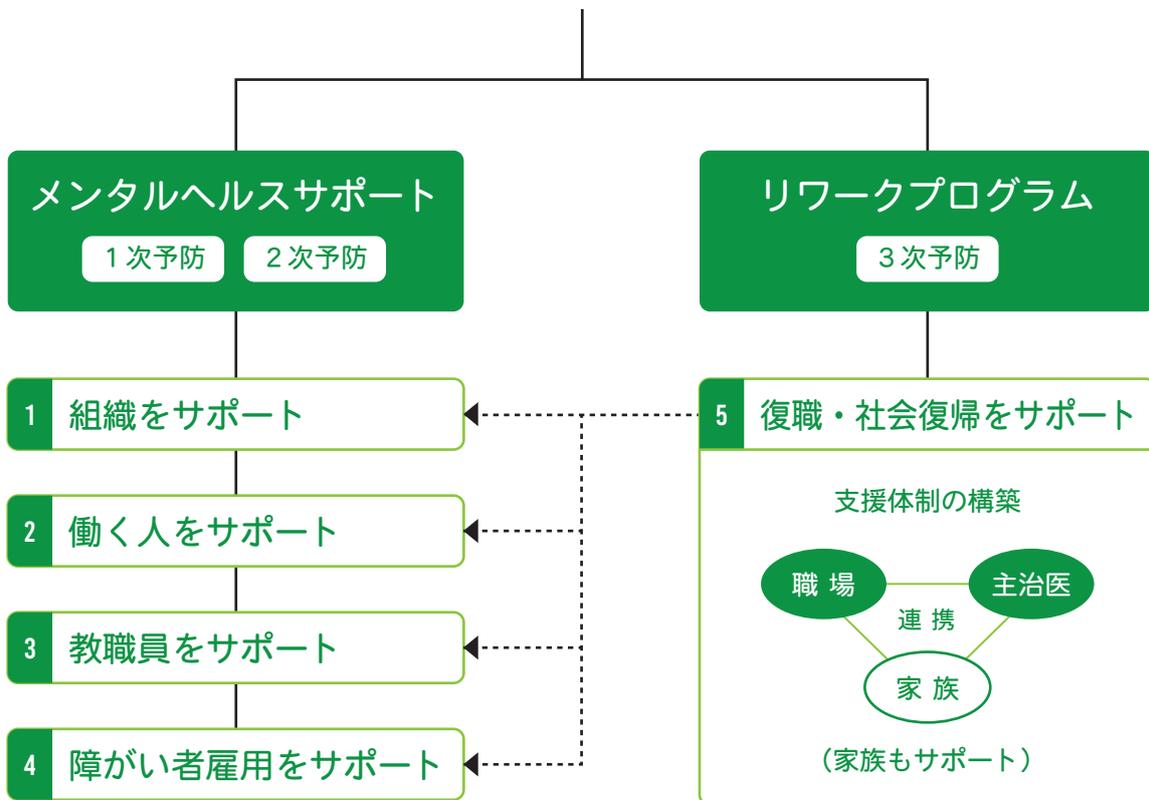
BOWL

サービス

メンタルヘルス対策における0次～3次予防



私たちが提供するメンタルヘルスケアサービス



メンタルヘルス対策から復帰～復帰後の支援まで
トータルでサポートします

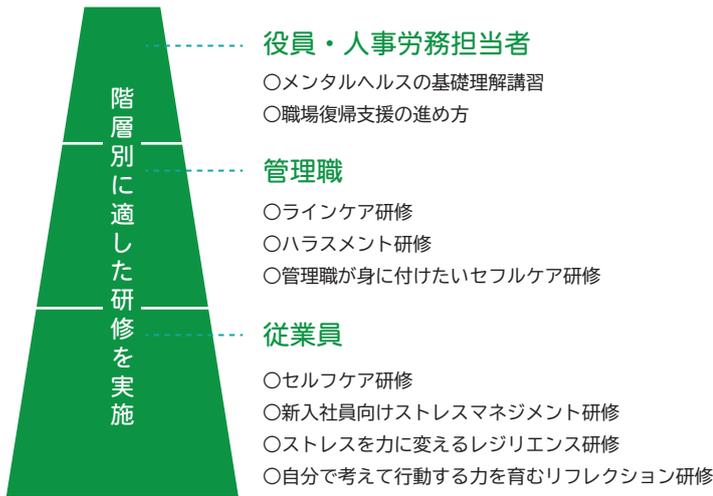
1 組織をサポート

メンタルヘルスのパートナーとして、組織全体のメンタルヘルスへの理解促進や、自分らしい働き方の実現に向けた研修・ワークショップや個別面談など、組織向けのサポートを行っています。

階層別メンタルヘルス研修

目的

- ・組織全体のメンタルヘルスへの理解促進
- ・組織内の支援体制の構築や推進



従業員支援プログラム

目的

- ・従業員のメンタルヘルスケア
- ・メンタルヘルス維持向上による生産性向上

プログラム例

- 高ストレス者への面談
- 管理職への個別支援
- ストレスチェック集団分析
- 高ストレス部署への介入支援
- 休職者への復帰サポート
- 安全衛生委員会への参加



組織と従業員のメンタルヘルスケアのコンサルテーションを提供します。従業員が高い生産性を発揮するためにはメンタルヘルスの維持向上は欠かせません。従業員がよりいきいきと働くことを目指し、職場のニーズに合わせたサポートを行います。

2 働く人をサポート

職場復帰後の就労定着・再発予防・うつを未然予防を目的に、就労者個人と組織の関係をサポートするサービスです。

目的

- ・就労定着と再発予防
- ・うつを未然予防
- ・自分らしい働き方の実現

復帰直後は「はたさぼ」

復帰後 6ヶ月間をサポート。復帰者との継続した繋がりを持つことで再発を予防します。

対象①

- ・BowLを利用して職場復帰をした方
 - 復帰後の課題を整理
 - 職場との連携、経過共有、ステップの確認
 - 家族、主治医との連携

対象②

- ・発症、通院はないが就労に不安定さが見える方（一般）
- ・セルフケアを高めパフォーマンスを上げたい方（一般）
 - 生活や働き方の課題整理
 - ストレスへの気づきを促す
 - メンタルヘルスの理解を深める

一般の方は月額
¥11,000円(税込)

切れ目のない支援

(最長3年6ヶ月の支援)



復帰6ヶ月以降は「就労定着支援」

復帰者の個々の課題に応じた支援プランに沿って、就労定着を継続的にいきます。

対象

- ・生活訓練、就労移行支援を活用して復帰された方

提供プログラム



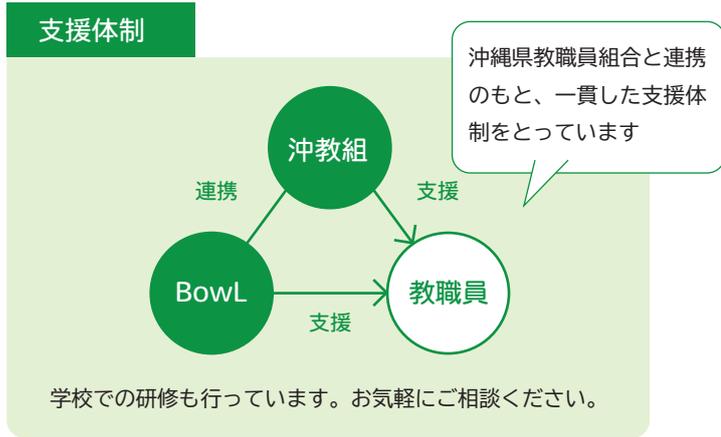
- 復帰者との個別面談
- 職場との連携
- 主治医との連携
- LINEでの相談
- 復帰者が集まるプログラムの提供

3 教職員をサポート

教職員向けのメンタルヘルス相談や研修を実施しています。県内の教職員の精神疾患による休職は年々増加していると言われてい
ます。メンタル不調を予防し、先生方が元気に自分らしく働くこ
とができるようサポートします。

- 目的**
- ・教職員のメンタルヘルスへの興味関心の向上
 - ・教職員の心身の健康維持

- 対象**
- ・小中学校の教職員



サポートの流れ



※Bowl へ直接申し込みも可能です。

相談例

- 児童や生徒への対応
- 保護者への対応と関係性の作り方
- 職場における対人関係
- 復職に向けた休職中の過ごし方
- 身近な人、同僚のメンタルヘルス相談
- その他ストレスに思っていること など



料金	組合員	3 回目まで無料（補助適用） 4 回目以降 1 回あたり ¥5,500（自己負担）
	組合員以外	1 回あたり ¥12,000（自己負担）

4 障がい者雇用をサポート

雇用される側・雇用する側の双方が安心して職務に取り組むこと
ができるよう、「雇用前」から「雇用後」までの障がい者と事業所
のサポートを行っています。

- 目的**
- ・障がい者就労の円滑化
 - ・障がい者雇用に取り組む事業所の課題解決

- 対象**
- ・障がい者雇用として雇用されている障がい者
 - ・障がい者雇用に取り組む事業所



障がい者・職場の両方をサポート

※定着のサポートとしてジョブコーチ支援も行っています。

本人も職場も安心して就労するための準備

障がい者雇用に取り組む事業所への

「雇用前」サポート

Before
サポート例

- 補助金・助成金を活用した雇用事例
- 採用面接での同席、業務整理のサポート
- 障がい者への理解促進を目的とした研修

安定して働き続けられるための継続的支援

障がい者雇用に取り組む事業所への

「雇用後」サポート

After
サポート例

- 当事者の個別面談
- 現場、人事へサポート方法の助言
- 事業所内、外の支援先の繋ぎ方のサポート

5 復職・社会復帰をサポート

メンタルヘルス不調が原因で休職または退職中の方を対象に、職場復帰の支援を行っています。
専門スタッフのサポートのもと、1人ひとりの回復ペースに合わせながら支援プログラムを提供しています。

- 対象**
- ・メンタルヘルス不調が理由で休職中または無職の方
 - ・気分障害（うつ）や不安障害などがある方

リワークについて

Bowl では「リワーク」による支援を行っています。
リワークとは「Return to Work」の略語で、メンタルヘルス不調が原因で休職中の方を対象とした、職場復帰を目指すための支援プログラムです。

オンライン対応

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受けて、2020年よりオンラインによるリワーク支援にも取り組んでいます。



Bowl のリワークの有効性

職場復帰後の定着率

83%

復職へのステップを可視化

復職に向けた本人の回復ステップや、復職に向けた受入れ体制の相談を連携しながら行います。

再発による休職リスクを軽減

再発率 50%と言われている病気です。復帰後のフォローアップ支援が再発予防になると言われています。

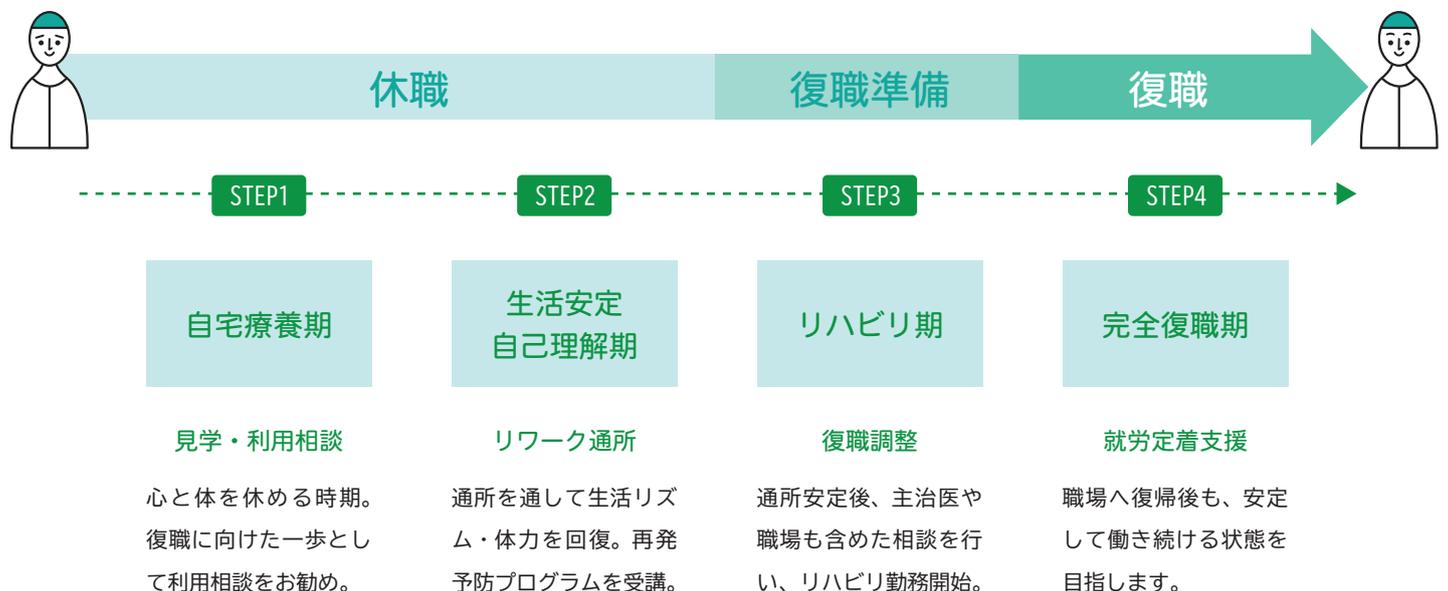
復職後のサポートも充実

Bowl 独自の支援や福祉サービスを活用し、復職後も安定して働き続けることを目指します。

本人の回復状況を常に共有

復職に向けて現在どの程度回復しているか？復職における回復の目安等、連携にて情報共有します。

復職支援のモデルケース



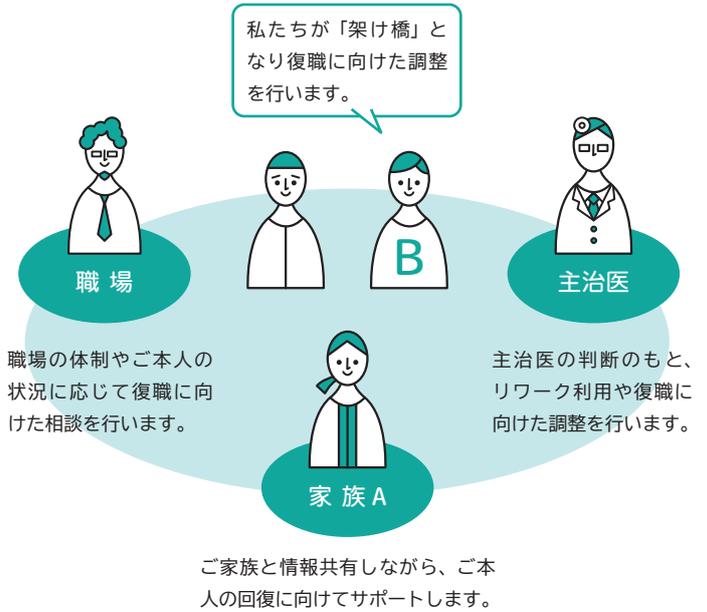
支援体制のイメージ

休職中の方を支援する上で重要なのは「支援体制」です。ご本人の回復のペースを大事にすることはもちろん、主治医・職場・ご家族との連携も欠かせません。各サポーターの役割を明確し連携することで、スムーズな復職に向けた環境へと調整していきます。

職場連携の重要性

うつへの理解と迎える環境づくり

復職する際の職場環境はとても重要です。本人と職場の相互理解や復職に向けた環境調整を行うことが、職場全体のメンタルヘルスケアに繋がります。



家族もサポート

メンタル不調の方を支えるご家族のサポートも行っています。同じ境遇にある家族同士が話し合う場、分かち合う場を定期的に提供しています。家族だけで抱え込むのではなく、BowL や各支援先と役割分担しながら、当事者の職場復帰のサポートをしていきます。



リワークの実績 2021.9 更新

累計利用者数

353名

期間：2013.5-2021.3

2020年度 **61**名

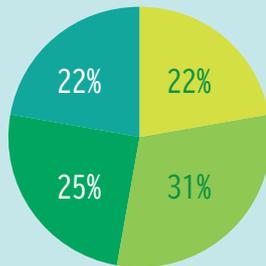
2019年度 **73**名

利用のきっかけ

期間：2020.4-2021.3

- 主治医 (24)
- 人事・保健士 (3)
- 産業医 (3)
- 再利用 (2)
- 家族・知人 (1)
- ホームページ (1)

年齢構成



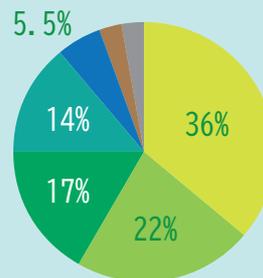
平均 **36.9** 歳

期間：2020.4-2021.3

- 20代 = 8名
- 30代 = 11名
- 40代 = 9名
- 50代~ = 8名

2019年度：平均 39.7 歳

職業別



期間：2020.4-2021.3

- 無職 = 13名
- 国家公務員 = 8名
- 医療看護 = 6名
- 教員 = 5名
- 地方公務員 = 2名
- 会社員 = 1名
- 介護・福祉 = 1名

復職・再就職者数

204名

期間：2013.5-2021.3

復職者数 再就職者数

139名 **65**名

定着率

職場復帰後の定着率

83%

期間：2013.5-2021.3